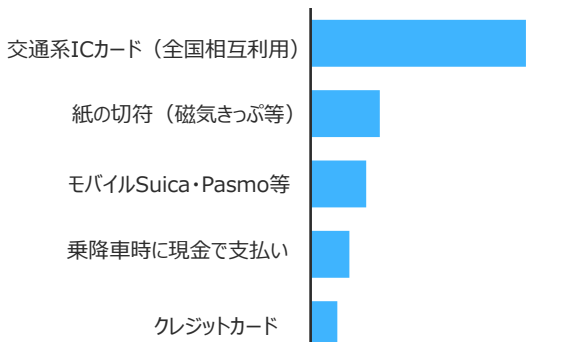


進展する公共交通機関における決済手段の多様化

— 訪日外国人の利便性向上に向けてキャッシュレス決済の活用促進を —

- (1) わが国では、鉄道やバスといった公共交通機関における決済手段が足元にかけて多様化。これまで普及してきた交通系ICカードに加え（図表1）、新たに非接触決済（タッチ決済）に対応したクレジットカードやQRコードを活用した乗車サービスが台頭（図表2）。
- (2) とりわけ、クレジットカードのタッチ決済を用いた乗車システムの導入が各地で進展。当初は地方の交通事業者で先行していたものの、足元では、首都圏や関西圏など、大都市圏でも相次いで導入されており、運賃決済の多様化に向けた動きが加速（図表3）。
- (3) 公共交通機関におけるクレジットカードのタッチ決済の活用が進んでいる背景の1つが、訪日外国人増加への対応。訪日客の多くは、発券機での切符購入や交通系ICカードへの入金（チャージ）手続きに不便さを感じており（図表4）、日常生活で利用しているクレジットカードを用いて乗降車ができれば、利便性の向上を図ることが可能。海外では既に同決済手段が相応に浸透。
- (4) 公共交通機関における決済手段の多様化に伴い、利用者がそれぞれのニーズに沿って、手段を選択できる環境に。とりわけ、訪日外国人は、クレジットカードのタッチ決済の普及などにより、日本国内での移動がよりスムーズとなることから、政府や地公体、各交通事業者においては、新たに開始した乗車サービスに関する情報を適切に周知し、認知度を高めていく必要あり。

(図表1) 鉄道利用者の主な決済手段



(資料) 国土交通省を基に日本総研作成
(注) 複数回答。アンケート調査結果の上位5項目。

(図表2) 公共交通機関における
新たな乗車サービスの例

	クレジットカード等のタッチ決済	QRコードを活用したデジタル切符
概要	非接触決済（タッチ決済）が可能なクレジットカード等を用いて乗降車	スマートフォン等に表示されるQRコード（デジタル切符）をかざして乗降車
方法	①タッチ決済対応のカードやスマートフォンを用意 ②乗車時、降車時に、改札機に設置しているタッチ決済対応の読み取り端末にかざす	①専用のウェブサイトやアプリ上などでQRコード乗車券を購入 ②改札機の専用リーダーに、手持ちのスマートフォン等で表示されるQRコードをかざす
特徴	・ICカードへのチャージや切符購入が不要 ・日常で使用しているカード等を用いて乗車が可能	・企画乗車券、新幹線や特急列車等における乗車サービスでの活用が可能 ・窓口での磁気切符の発券が不要

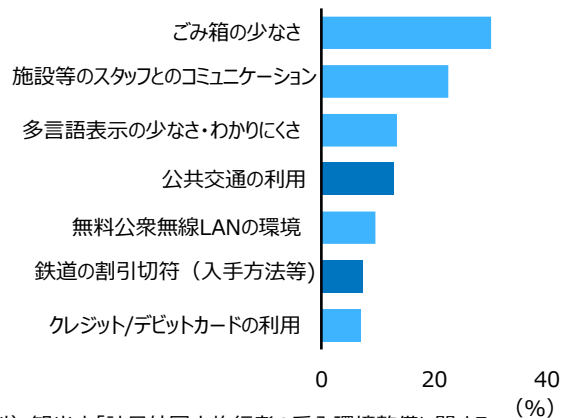
(資料) 各種報道を基に日本総研作成

(図表3) 公共交通機関のクレジットカード決済の導入例

開始時期	事業者	運行地域	開始時期	事業者	運行地域		
2020年 7月	茨城交通	茨城県	2023年 4月	江ノ電	神奈川県		
	9月	岩手県北バス	岩手県	2024年 3月	福島交通	福島県	
	10月	会津バス	福島県 宮城県		3月	京王電鉄	首都圏
2021年 3月	京福バス	福井県 石川県		5月	東急電鉄	首都圏	
	4月	北都交通	北海道	10月	阪急電鉄	関西圏	
	4月	南海電鉄	大阪府 和歌山県	10月	大阪メトロ	大阪府	
2022年 5月	福岡市地下鉄	福岡県		10月	阪神電鉄	関西圏	

(資料) 各種報道を基に日本総研作成
(注) 一部路線での導入を含む。

(図表4) 訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと



(資料) 観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート（令和5年）」を基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 研究員 内村 佳奈子 (uchimura.kanako@jri.co.jp, 090-6526-1690)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものでありますが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。